

2025—(A)

◆ 国 語 問 題

13：00～14：15（75分）

受験についての注意

1. 試験開始の合図があるまで、問題を見てはいけません。
2. 国語の試験用紙は、問題用紙1部（16ページ）、マーク式解答用紙1枚から構成されています。過不足があれば監督者に申し出てください。
3. 試験中に試験用紙の印刷の不鮮明、ページの欠落、乱れおよび解答用紙の汚れなどに気づいた場合は、監督者に申し出てください。
4. 監督者の指示に従って、マーク式解答用紙の受験番号の記入欄に受験番号を1カ所記入し、さらにその下のマーク欄にマークしてください。また、氏名欄に氏名を1カ所記入してください。
5. 解答はすべてHBの黒鉛筆またはHBで0.5 mm以上の芯のシャープペンシルで記入してください。
6. 解答用紙は丁寧に取り扱いってください。
〈マーク式解答用紙は折り曲げたり、破ったり、汚したりしないよう、特に注意してください。〉
7. 解答は解答用紙の各問指定の枠内に記入してください。解答用紙の裏面にはいっさい記入してはいけません。下書きなどには問題用紙の余白を利用してください。
8. 解答中以外の解答用紙は必ず裏返しに置いてください。
9. 受験中は不審な行動をとってはいけません。不正行為があれば当該年度の全入学試験を無効とします。
10. 試験時間の途中で退場することはできません。
ただし、気分が悪いなど身体の調子が悪くなった場合は、手を挙げて監督者に申し出てください。
11. 試験終了の合図と同時に解答をやめてください。
12. 問題用紙は試験終了後、持ち帰ってください。

マーク式解答用紙の記入上の注意

1. 受験番号の記入方法

受験番号は受験番号欄にアラビア数字で記入のうえ、
受験番号マーク欄に下の例に示すようにマークしてください。

〔例〕受験番号が00012番のときは、

受 験 番 号					
P	0	0	0	1	2
	万位	千位	百位	十位	一位
	0	0	0	0	0
	1	1	1	1	1
	2	2	2	2	2
	3	3	3	3	3
	4	4	4	4	4
	5	5	5	5	5
	6	6	6	6	6
	7	7	7	7	7
	8	8	8	8	8
	9	9	9	9	9

2. マークの記入方法

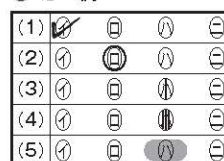
次に示す㉓「正しい例」のようにマークし、㉔「悪い例」のようにマークしてはいけません。

㉓ 正しい例



例えばロと解答したい場合、
ロのマーク枠の中を完全に
ぬりつぶしてください。

㉔ 悪い例



✓印をつける

○印でかこむ

線を引く

ぬりつぶしが不完全

範囲をおおきくこえる

このような
マークをし
てはいけま
せん。

3. 一度記入したマークを訂正する場合、消しゴムで完全に
消してからマークしなおしてください。



左図のように×印をつけても
消したことはありません。

4. 正しくマークされていない場合、採点できないことが
あります。

解答はすべて別紙の解答用紙に記入しなさい

— 1 —
次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

(著作権の都合上、問題文の掲載をしております)
但し、参考の為、設問は掲載しております。



(注) *ジョルダニア：ジョージアの民族音楽学者、進化音楽学者。

*ポリフォニーであれ、モノフォニーであれ、：ジョルダニアはポリフォニーを「複数の人間による合唱全般」、モノフォニーを「独唱」としている。

*ミハイル・バフチン：ロシアの文芸学者、美学者。

*ドウルーズ：フランスの哲学者。

問一 傍線部A～Dのカタカナの部分に漢字で書いたとき、傍線部に同一の漢字を使うものを次のイ～ホからそれぞれ一つずつ

選び、その符号をマークしなさい。

A 随イ的

- イ 一イ専心
- ロ 天イ無縫
- ハ 有イ転変
- ニ イイ々語々
- ホ 感情イ入

B ククられて

- イ 領地をカツ譲する
- ロ 概カツして記す
- ハ 師の徳をカツ仰する
- ニ グループの潤カツ油
- ホ カツ字離れ

(田崎英明「言語の起源、歌の起源」より)

D
シヤ蔽

C
留ホ

イ	条件を譲ホする
ロ	改訂増ホ版の出版
ハ	ホ身に徹する
ニ	泥棒をホ縛する
ホ	ホ掛け船に乗る

イ	シヤ程圈内に入る
ロ	識シヤの見解を聞く
ハ	単なるシヤ交辞令
ニ	交通をシヤ断する
ホ	シヤ免を請う

問二 傍線部①、②の読みとして正しいものを次のイ～ホからそれぞれ一つずつ選び、その符号をマークしなさい。

① 騙して

イ	ノして
ロ	ダマして
ハ	カマして
ニ	オドカして
ホ	ソソノカして

② 纏われて

イ	コわれて
ロ	ソわれて
ハ	マトわれて
ニ	オソわれて
ホ	サラわれて

問三 次の一文が入るべき箇所として最も適当なものを問題文中の【イ】～【ホ】から一つ選び、その符号をマークしなさい。

ここには歌と言語との差異の問題が関わっている。

問四 傍線部①「相俟って」の意味として最も適当なものを次のイ

ホから一つ選び、その符号をマークしなさい。

イ 相殺して

ロ 相対化を繰り返して

ハ 互いに作用しあって

ニ 別々に働いて

ホ 渾然一体となつて

問五 傍線部②「私たちヒトは地上で歌う」とあるが、「ヒト」が

歌を「歌う」のはなぜか。その説明として適当でないものを次のイホから一つ選び、その符号をマークしなさい。

イ 複数の声部に分かれて歌うことによって、実際より多くの人数がいると敵に錯覚させることができるから

ロ 歌うことによって他の樹上生活者の動物と自分たちを

差異化する、という生存戦略を採ったから

ハ 肉食獣から獲物を横取りするためには、歌が有効であつたから

ニ 集団で大声を出すことによって、地上の肉食獣を威嚇して身を守ろうとしたから

ホ 歌を通して集団的なトランス状態に入ることによって、敵との戦闘に向かうことができるから

問六 空欄Ⅰに入る言葉として最も適当なものを次のイホから一

つ選び、その符号をマークしなさい。

イ 意図的 ロ 局所的 ハ 合理的

ニ 牧歌的 ホ 必然的

問七 空欄Ⅱに入る言葉として最も適当なものを次のイホから一

つ選び、その符号をマークしなさい。

イ 死線 ロ 窮鼠 ハ 深夜

ニ 火事場 ホ 正直者

問八 傍線部③「ヴェトナム」とあるが、『輝ける闇』でヴェトナム

戦争での取材体験を記し、他に『裸の王様』『日本三文オペラ』などの作品で知られる作家は誰か。次のイホから一つ選び、その符号をマークしなさい。

イ 村上春樹 ロ 小林多喜二 ハ 林芙美子

ニ 坪内逍遙 ホ 開高健

問九

傍線部④「多くの兵士たちが音楽の力を借りて戦闘へと赴いた」とあるが、その歌意からアジア・太平洋戦争時に戦意高揚のための軍歌として用いられ、兵士に歌われた文言を、次のイ～ホから一つ選び、その符号をマークしなさい。

イ 祇園精舎の鐘の聲 諸行無常の響きあり 沙羅双樹の花の色 盛者必衰の理をあらはす (『平家物語』)

ロ ああ、弟よ、君を泣く、君死にたまふことなかれ。(与謝野晶子)

ハ 人知れず 我こひ死なば あぢきなく いづれの神になき名おほせむ (『伊勢物語』)

ニ マツチ擦る つかのま海に 霧ふかし 身捨つるほどの 祖国はありや (寺山修司)

ホ 海行かば 水漬く屍 山行かば 草生す屍 大君の辺にこそ死なめ かへりみはせじ (大伴家持)

問十

空欄Ⅲに入る言葉として最も適当なものを次のイ～ホから一つ選び、その符号をマークしなさい。

イ 合理性 ロ 即効性 ハ 背反性

ニ 類似性 ホ 親和性

問十一

空欄Ⅳにはモノローグの対義語が入るが、その言葉として最も適当なものを次のイ～ホから一つ選び、その符号をマークしなさい。

イ エピローグ

ロ アナローグ

ハ プロローグ

ニ イデオローグ

ホ ダイアローグ

問三

傍線部⑤「それは人と人のあいだにのみ存在する」とはどのようなことか。その説明として最も適当なものを次のイ～ホから一つ選び、その符号をマークしなさい。

イ 言葉の意味は、「わたし」が一義的に確定できるわけではなく、発話を聞いた「あなた」との関係において生じるものであるということ

ロ 言葉の意味は、「わたし」や「あなた」が属する社会が決定するものであるということ

ハ 言葉の意味は、「わたし」が「あなた」の意見を予想しながら発話するという点において、常に二者の見解を折衷したものとなるということ

ニ 言葉の意味は、「わたし」と「あなた」の相関項である三人称のポジションにいる者にしか、客観的な把握ができないということ

ホ 言葉の意味は、「わたし」から「あなた」に発話者が交替すること、もともと意図されていたものとは異なったものになるということ

問三

傍線部⑥「世界を实体から構成されたものとして理解する」とあるが、これに基づいた思考の具体例として最も適当なものを次のイ～ホから一つ選び、その符号をマークしなさい。

イ 西の空に黒い雲があるから、このあと一雨降るだろう。

ロ 部屋の電気がついていないので、彼は不在だろう。

ハ この匂いからすると、キッチンで作られているのはカレーだろう。

ニ 大けがをしてしまったのは、自分の悪行に対する天罰だろう。

ホ ツクツクボウシが鳴き出したので、夏はもうすぐ終わるだろう。

問四 問題文における「見えないもの」についての説明として適

当なものを次のイ～ホから二つ選び、その符号をマークしなさい。

イ 動物にとって「見えないもの」は「隠された見えるものの」としてのみ在る。

ロ 人間は本当に目に「見えないもの」である他者の心の存在を信じている。

ハ 人間がドクサに怯えるのは、「見えないもの」が「隠された見えるもの」ではないということを理解しているからだ。

ニ 動物がこの世界に「見えないもの」が存在することを認識しているかどうかは、わからない。

ホ 人間は、魂や亡霊が本当に目に「見えないもの」であることを知っているが、動物にはそうした知覚はない。

問五

問題文の内容と合致するものを次のイ～トから二つ選び、その符号をマークしなさい。

イ 歌う動物の多くは反射的で定型的なパターンの発声を基本としているが、とは言えそれが嘘をつくための要件を即満たすという訳ではない。

ロ 鳥やクジラのような歌う動物の個体識別が可能であるのは、歌の掛け合いによって、それぞれに個性が生じるからである。

ハ バンヴェニストによれば、一人称と二人称は反転可能な関係であるが、三人称はそれらとは断絶しており、そのままでは一人称になることができない位相にある。

ニ バフチンは、個人の心や身体の中に言葉が蓄積されている、という通説を否定し、言語は文化によって保存されるものであると主張した。

ホ 人間にとっての学習とは、世界に満ちたサインから「他者の欲望への欲望」を読み取ることである。

ヘ どの生き物にとっても世界はサインに満ちたものであるが、動物は人間と違い、サインの背後に回り込まずに、その変化を関数的に理解し学ぶ。

ト 世界の中に書き込まれていない境界線としての「見えないもの」を感知することで、人は他者性を尊重して生きることが可能となる。

二 一次の文章は二位中将である狭衣が内裏からの帰途、女車に遭遇する場面である。これを読んで、後の問に答えなさい。

たそがれ時のほどに、二条大宮などわたりに会ひたる女車、牛の引き替へし、遠きほどよりかと思ゆる。側の物見少し開きたるより、円頭まうがしらのほの見ゆるは、この御車を見るなるべし。はやくやり過しつれば、あやし、ひが目かと思すに、供なる童の持たる物やしるからん、この御供なる隨身など見つけて、かやかやと追ひ留むるに、え逃げで引き留められぬ。若き隨身ども、いたう咎めかかりて、「下簾かけたまへるは僧綱そうがうにこそはおはすらめ。さはありとも、しばし留めては過したまはで、競ひてはやり来る。誰ばかりにかおはすらん」と荒らかに問ふに、「仁和寺の某阿闍梨あせりの御車にて、母上の物へ渡りたまふなり。I にて、心にまかせず走りはべるを」とわななき出づるを、「いで、さは、げに尼君かと思ん」とて簾を引き上ぐるに、法師の降り走りて、顔を隠して逃ぐるを、^⑪「この尼君はなど逃ぐるぞ」と追ひつきて走るを、御車を留めたまひて、「かくなせぞ」と言はせさせたまへば、法師をば逃がして、牛飼童を捕へつつ、「何者ぞ」と問へば、「仁和寺に某威儀師ゑいぎしと申す人なり。年頃、懸想したまへる人の、太秦うづまさに日頃籠りたまへるが、

出でたまふとて車借りたまへれば、喜びながら奉りたまひて、姫君一人を盗みて、率ておはするなり。法師だてら、かくあながちなるわざをしたまへば、仏の憎みたまひてかかるめを見せたまふなり。荒牛にてはあり、押し留めても寄るべきを、年頃の思ひかなひて急ぎたまふほどに、女車とぞ見るらん、ただとくとく遣れ、と責めたまへば、師には従ふ、といふ法文を、僧のあたりにて年頃ありつるしるしには聞き知りさぶらひて、のたまふままに走らせはべりつるなり。今よりはさらさらにこの師に II」とて、いと恐ろしう悲しと思ひたるに、いとをかしうて許してけり。

君には、「しかじかなん申しつる。車にはまことに女の侍りつるなめり。人もみな逃げぬ。かくてうち捨てては、さすがにいとほしうこそさぶらひぬべけれ」と申せば、「何しにかは、かかるわざをばしつる。常に制することを聞かで。行くべからん所はいづくにてかあらん。いかでか、さは捨てん。その童に問ひて送れ」とのたまひて過ぎたまふ。

〔『狭衣物語』より〕

(注)

*牛の引き替へし…交代用の牛を引き連れていて。

*僧綱…官位の高い僧侶。

*威儀師…仏事作法の指南役の僧。

*太秦…広隆寺。

問一

傍線部①「側の物見」の説明として最も適当なものを次のイ

ハから一つ選び、その符号をマークしなさい。

イ 大路に設けられた棧敷

ロ 警備のための監視台

ハ 道路脇にできた見物人の列

ニ 車内をのぞく野次馬の群れ

ホ 牛車ののぞき窓

問二

傍線部②「この御車を見るなるべし」の解釈として最も適当

なものを次のイハから一つ選び、その符号をマークしなさい。

イ 女車を見ているに違いない

ロ 女車を見ているのかもしれない

ハ 女車に目を向けるべきだ

ニ 狭衣の車を見ているに違いない

ホ 狭衣の車を見ているのかもしれない

ハ 狭衣の車に目を向けるべきだ

問三

傍線部③「ひが目」、⑨「わななき」、⑩「いで、さは」、⑬「法

師だてら」の意味として最も適当なものを次のイハからそれぞれ一つずつ選び、その符号をマークしなさい。

③ ひが目

イ 鋭い視線

ロ 見間違い

ハ つぶらな瞳

ニ まずい方法

ホ ひねくれた態度

⑨ わななき

イ 弁解して

ロ 涙を流して

ハ 嘘をついて

ニ 震えて

ホ 居直って

⑩ いで、さは

イ さて、それならば

ロ 出ろ、すぐに

ハ いや、違う

ニ そうか、いや待て

ホ おい、もしや

⑬ 法師だてら

- イ 法師が群れて
- ロ 法師の役得で
- ハ 法師を装って
- ニ 法師に倣って
- ホ 法師の分際で

問四

傍線部④「供なる童の持たる物やしるからん」の解釈として最も適当なものを次のイ～ホから一つ選び、その符号をマークしなさい。

- イ 供を務める童の持ち物が僧具とはつきり分かったのだろうか
- ロ 供を務める童の所持品から女が同乗するとうかがい知れたのだろうか
- ハ 供として童を従えていることから僧が乗っていると判明したのだろうか
- ニ 供を務める童の携行品が美しくて目を惹くものだったからだろうか
- ホ 僧に付き添う童としては分不相応な品を持っていたからだろうか

問五

傍線部⑤「え逃げで引き留められぬ」の現代語訳として最も適当なものを次のイ～ホから一つ選び、その符号をマークしなさい。

- イ 逃げたので引き留めようとした
- ロ 逃げたものの引き留められた
- ハ 逃げる事が出来ず引き留められた
- ニ 逃げも引き留めもしなかった
- ホ 逃げる事が出来ずお引き留めになった

問六

傍線部⑥「咎め」、⑧「阿闍梨」の読みとして正しいものを次のイ～ホからそれぞれ一つずつ選び、その符号をマークしなさい。

⑥ 咎め

- イ いさめ
- ロ いじめ
- ハ とがめ
- ニ おさめ
- ホ はづかしめ

⑧ 阿闍梨

- イ あしやなし
- ロ あとなし
- ハ あじやり
- ニ あぐり
- ホ あとり

問七

傍線部⑦「誰ばかりにかおはすらん」の解釈として最も適当なものを次のイ～ホから一つ選び、その符号をマークしなさい。

- イ どんな高貴な人のもとに向かっておられるのか
- ロ どれだけの人数が乗っておられるのか
- ハ たったお一人でお乗りになっているに違いない
- ニ どれほどの身分の方が乗っていらっしゃるのか
- ホ しかるべき姫君も同車しているのであらう

問八

空欄Ⅰに入る言葉として最も適当なものを次のイ～ホから一つ選び、その符号をマークしなさい。

- イ 牛飼童 ロ 隨身 ハ 威儀師
- ニ 尼君 ホ 荒牛

問九

傍線部⑩「この尼君はなど逃ぐるぞ」には隨身のどのような気持ちが込められているか。最も適当なものを次のイ～ホから一つ選び、その符号をマークしなさい。

- イ 尼君がなぜ法師に変装していたのかという疑念
- ロ 尼君が乗っていると嘘をつかせた法師へのからかい
- ハ 尼君がいつの間に法師と入れ替わったのかという驚き
- ニ 姫君を置き去りにする法師への義憤
- ホ 法師が狭衣の車を追い越した無礼に対する怒り

問十

傍線部⑫「かくなせそ」、⑬「侍りつるなめり」の文法的説明として最も適当なものを次のイ～ホからそれぞれ一つずつ選び、その符号をマークしなさい。

⑫ かくなせそ

- イ 副詞＋副詞＋動詞＋助詞
- ロ 副詞＋動詞＋助詞
- ハ 動詞＋副詞＋動詞＋助詞
- ニ 動詞＋副詞＋動詞＋助動詞
- ホ 動詞＋動詞＋助詞

⑬ 侍りつるなめり

- イ 動詞＋助動詞＋助動詞＋助動詞
- ロ 動詞＋助動詞＋助動詞
- ハ 動詞＋動詞＋助動詞＋助動詞
- ニ 動詞＋動詞＋助動詞
- ホ 動詞＋名詞＋助動詞＋助動詞

問十一

傍線部⑭「年頃の思ひ」とは誰のどのような思いか。最も適当なものを次のイ〜ハから一つ選び、その符号をマークしなさい。

イ 牛飼童の姫君に対する恋心

ロ 牛飼童の太秦参籠を願う道心

ハ 牛飼童の威儀師に対する忠心

ニ 牛飼童の威儀師に対する反抗心

ホ 威儀師の姫君に対する恋心

ヘ 威儀師の太秦参籠を願う道心

問十二

傍線部⑮「僧のあたりにて年頃ありつるしるしには聞き知りさぶらひて」とあるが、誰が聞き知ったのか。最も適当なものを次のイ〜ホから一つ選び、その符号をマークしなさい。

イ 威儀師 ロ 牛飼童 ハ 狭衣

ニ 隨身 ホ 仏

問十三

空欄Ⅱに入る言葉として最も適当なものを次のイ〜ホから一つ選び、その符号をマークしなさい。

イ 使はれはべらなん

ロ 使はれはべりなん

ハ 使はれはべりけん

ニ 使はれはべらじ

ホ 使はれはべらばや

問十四

傍線部⑯「何しにかは、かかるわざをばしつる」と言ったときの狭衣の心情の説明として最も適当なものを次のイ〜ホから一つ選び、その符号をマークしなさい。

イ 厄介事を招いた随身の言動を不快に感じている。

ロ 姫君を窮地から救った随身の機転を賞賛している。

ハ 法師が取った色めいた態度にあきれ果てている。

ニ なぜ法師が姫君を置き去りにしたのか訝しんでいる。

ホ 姫君との思いがけぬ出会いをうれしく思っている。

問十五

『狭衣物語』は平安時代に書かれた物語である。同じく平安時代に成立した作品を次のイ〜ホから一つ選び、その符号をマークしなさい。

イ 吾妻鏡 ロ 伊曾保物語 ハ 大和物語

ニ 平家物語 ホ 万葉集

—— このページは白紙です。 ——